

# ながさき 市議会だより

No. 185

2024.2.1



主な掲載内容 令和5年12月定例会

長崎フォトフェスティバル 2020 受賞作品

本会議の様子を長崎ケーブルメディアやインターネットで生中継しています。  
また、インターネットでは録画中継もご覧になれます。YouTube(ユーチューブ)でも視聴できます。

長崎市議会

検索



# 12月定例会の概要

令和5年12月定例会を次のとおり開催しました。

12月4日	本会議 (委員長報告、 議案上程(委員会付託))
12月7・8・11日	本会議(市政一般質問)
12月12日	本会議(市政一般質問、 追加議案上程(委員会付託))
12月13日	常任委員会 本会議(委員長報告)
12月14・15・18日	常任委員会
12月19日	特別委員会
12月21日	本会議(委員長報告等)

## ▶ 議決結果(詳細はP 8、10)

・市長提出議案	決算認定	15件
	原案可決	36件
	人事案件同意	2件
	諮問異議ない旨答申	1件
	専決処分の報告	5件

## 一般会計補正予算(第9・10・11号)を可決

### <主な内容>

#### ◆物価高騰対策に係るもの

- 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業費
  - ・特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対して1世帯当たり7万円の給付金を支給
- 物価高騰対策学用品費臨時特別給付金
  - ・学齢期の児童生徒がいる世帯に対し、家計における学用品費を支援するための給付金を支給  
小学生一人当たり5,500円  
中学生一人当たり11,000円

#### ◆施策の推進に係るもの

- 長崎ランタンフェスティバル事業共催費負担金
  - ・皇帝パレード(特別版)の実施に当たり、来訪者の安全確保のための警備費等の増額

詳しくは、  
ホームページでご覧になれます。



## 一般質問

質問した順番で掲載しています。  
各議員名の下にあるQRコード\*から質問の映像をご覧になれます。

今後とも早期発見・早期対応に努めるとともに、校内学級の支援センターの充実など不登校児童生徒の多様な学びの場の確保に努めていきたい。



**問** 本市における不登校児童生徒の現状や早期発見のための取組について伺いたい。

**答** 本市における調査では、令和4年度の不登校児童生徒数は小学校で358人、中学校で61人となっております。また、中学校では107人の生徒が相談などの支援を全く受けていないとの結果であった。早期発見の手だてとしては、各小中学校に対し、毎月、長期欠席等の調査を実施するとともに、連続して3日欠席した児童生徒については理由を問わず校内で不登校の要因がないか協議すること、連続して5日欠席した場合は家庭訪問を行うなど、早期対応を行うよう指導している。

### 不登校児童生徒への支援



自民創生  
竹田 たけだ 雄亮 ゆうすけ



一方で、協議会については、幹線道路の整備促進を目的とする4つの協議会を設置し、一般国道499号などの路線の早期完成に向け、国や県などに要望活動を行っており、茂木バイパスを要望項目に取り上げるには新たな協議会の設置が必要と考えるため、進捗中の他の幹線道路の整備状況を踏まえながら、できるだけ早く設置できるように検討していきたい。



**問** 事業化には、整備効果を高めるための企業立地等の地域振興策と、幹線道路の整備促進に係る協議会からの要望が必要と考えるが、本市の見解を伺いたい。

**答** 同路線については、現在事業中の路線に続く候補路線として、市単独で長崎県長崎振興局に早期検討を要望している。また、地域振興策としては、企業立地等が考えられるが、現在、茂木地区を含む市内全域を対象に、企業立地用地として整備の可能性ある土地などの検討調査を行っている。

### (仮称)茂木バイパスの早期事業着手



新出島クラブ  
山口まさよし やまぐち



\*QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

概要

一般質問

常任委員会の  
主な審査内容

議決結果

令和4年度決算の  
主な審査内容

令和4年度決算  
議決結果

令和5年の  
長崎市議会

議会の動き、  
人事、陳情等



公明党  
やまもと  
山本

のぶゆき  
信幸



### プレミアム付商品券の効果検証 及び今後の展望

**問** 商店街や各業界団体が行うプレミアム付商品券等の発行に対する支援を行っているが、事業効果の検証と来年度以降の展望を伺いたい。

**答** 新型コロナウイルス感染症の影響で失われた消費を復活させるため、令和2年度から4年度にプレミアム付商品券の発行や各種イベントを支援してきた。令和5年度には、原油価格・物価高騰による消費者の生活支援を目的に、大規模小売店舗を新たに補助対象者に加え、32団体に約6億円の支援を行い、商品券の発行総額は約25億円となった。これにより、地域内での消費喚起、地場事業者の売上増加を通じて、地域経済の活性化につながったと考えている。

来年度以降については、財源となる国の経済対策に係る交付金の状況に応じて検討していきたい。



自民党  
うめもと  
梅元

けんじ  
建治



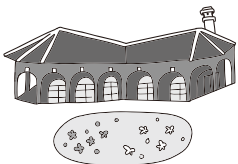
### 開園50周年を迎えるグラブアー園 の在り方

**問** 中長期的な視点での保存、活用の在り方を検討すべき時期を迎えていると考えるが、本市の考えを伺いたい。

**答** グラブアー園内の主な建物のうち国指定重要文化財の3邸は建物の歴史的な役割を示すとともに、その他の洋風建造物6邸は各邸の由来などに基づき建物内を活用する方針としており、順次、耐震・保存修理工事を行い、令和11年度までに完了する予定である。

活用については、令和4年度の指定管理者の公募時に建物の活用案の提案を受け、喫茶室や企画展示室、市民や地域活動の拠点などとして利用されている。

グラブアー園内の建物を含む山手地区の洋館のさらなる活用は、地域の活性化等に寄与すると考えるため、今後も、指定管理者や地域の意見を聞きながら取り組んでいきたい。



市民クラブ  
いけだ  
池田

あきこ  
章子

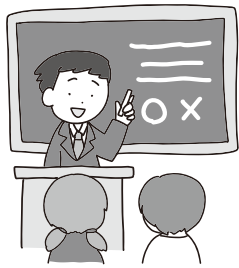


### 教職員の働き方改革

**問** 8月に文部科学大臣から、学校の働き方改革について、「学校・教育委員会は、できることは直ちに実行を」とのメッセージが発出されたが、これを受けた本市の対応について伺いたい。

**答** これまで統合型校務支援システムの導入や留守番電話の設置、給食費の公会計化などにより教職員の業務を減し、各学校においては、学校行事の精選や組織の改編、地域や家庭との連携による業務分担に取り組んでいる。また、人材確保については、市独自に特別支援教育支援員や学校サポーター等が必要に応じ配置してきた。これらの取組により、

超過勤務が減少し、一定の成果が出ていると考えている。今後も更なる業務の縮減、人材確保に努め、喫緊の課題である教職員の働き方改革に取り組んでいく。



ながさきミライ  
たけし  
平



### 「長崎ちゃんぽん」後継者支援

**問** 後継者不在のため、ちゃんぽんをはじめとするまち中華の店が閉店し、まちの魅力が減っている現状を踏まえ、事業承継で単に仕事を引き継ぐだけでなく、それを地域活性化につなげる必要があると考えるが、本市はどのような取組を行っているのか。

**答** 事業承継においては、多くの事業者がいずれ事業承継を行う必要があるものの、その準備がなされていないことから、本市では、事業承継を検討する経営者が早期に準備に取りかかるきっかけとなるよう、承継の計画を進める上で必要な費用負担に対する支援を行っている。また、中小企業庁が設置する事業承継・引継ぎ支援センターと連携した円滑な支援に努めており、今後も地域経済を支える市内中小企業の技術やサービス、雇用の喪失を防ぐための対策に努めていきたい。



概要

一般質問

常任委員会の  
主な審査内容

議決結果

令和4年度決算の  
主な審査内容

令和4年度決算  
議決結果

令和5年の  
長崎市議会

議会の動き、  
人事、陳情等



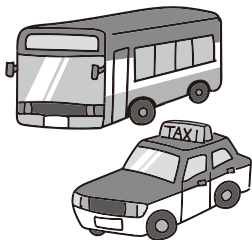


市民クラブ  
のぐち  
**野口 達也**  
たじや  
QRコード


### ライドシェア解禁に対する見解

**問** 都市部におけるタクシー運転手の人材不足等を背景に国会においてライドシェア（一般のドライバーが自家用車を使って有償で乗客を運ぶサービス）の合法化に向けた動きがあるが、本市で展開されればタクシー事業や地域公共交通が存続の危機に陥る可能性があるが、本市の考えを伺いたい。

**答** 本市においては、現在、タクシーのサービス供給が極端に逼迫している状況ではなく、仮にライドシェアが解禁された場合、市民の移動手段の選択肢が増える一方で、既存の交通事業者への影響も考えられ、さらにはドア・ツー・ドアの移送サービス自体の存続にも影響を及ぼし、かえって利用者にとって不便となる可能性も考えられる。



したがって、今後も国の動向を注視しつつ、慎重に対応していきたい。



市民クラブ  
やまた  
**山谷 よしひろ**  
QRコード

### 市独自の児童相談所の設置

**問** 現在、県が本市と佐世保市に児童相談所を設置しているが、市独自に設置する考えはないか。

**答** 平成16年の児童福祉法改正により中核市においても児童相談所を設置できるが、設置には、児童虐待に対応できる専門的人材の育成・確保や財源の確保等の大きな課題があるところである。

本市では、児童虐待等の総合的な対応を行う「子ども家庭総合支援拠点」と、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行う「子育て世代包括支援センター」を一体的な組織として改編し、誰一人見逃さない相談支援体制と迅速かつ専門的に対応できる体制の充実を図り、児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応に努めている。

さらに、令和6年4月設置予定の「子ども家庭センター」においても、児童相談所とより一層の連携を深めつつ、児童虐待防止対策にしっかりと取り組んでいきたい。

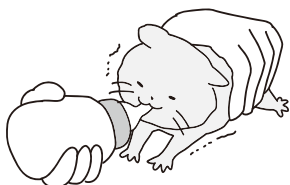



新出島クラブ  
あへく  
**阿部のぞみ**  
QRコード

### 動物愛護管理センターにおけるミルクボランティアの取組

**問** 犬猫殺処分ゼロを目指すためには、殺処分が多い離乳前の子猫を自宅等で一時的に預かり、離乳するまでの間、飼育し、譲渡につなげるミルクボランティアの取組が有効であると考えが、本市において実施する考えはないか伺いたい。

**答** ミルクボランティアについては、実施に向けて検討を進めている段階であり、活動を行う上で必要な粉ミルクや哺乳瓶等の消耗品費をはじめ、ウイルス検査などの医療費等の経費について、ふるさと納税制度による寄附金を充てることができないか、関係課と協議を重ねているところである。



来年度の実施に向け、動物愛護団体とも協議を重ねながら、積極的に取り組んでいきたい。



自民創生  
やまさき  
**山崎 猛**  
たじ  
QRコード

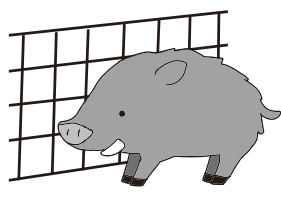
### 有害鳥獣対策

**問** 本市における有害鳥獣被害の状況と対策の取組状況を伺いたい。

**答** 本市では、有害鳥獣の被害相談が年間千件以上あり、その7割程度が生活環境被害関連となっている。対策として、令和4年度には、ワイヤーメッシュ柵の自治会等への貸与及び一部設置支援を行ったほか、有害鳥獣対策協議会及び地域の捕獲隊により4,340頭のイノシシを捕獲した。

また、新たな対策として、令和2年度から、ビワ産地のカラス等を音や光で追い払う機器等の導入支援を実施しているほか、令和4年度には、長崎市提案型協働事業を活用し、ドローンによるカラスの追い払いや捕獲のためのおびき寄せの有効性の検証を行った。

今後も関係機関及び自治会などと連携し、被害の低減に取り組みたい。





公明党  
永尾 ながお  
春文 はるふみ



子ども福祉医療費の高校生世代への支給の在り方

**問** 子どもの保険診療に係る自己負担額を一部助成する子ども福祉医療費の高校生世代への支給方法が、病院窓口で一旦自己負担額の全額を支払い、後日市に請求する償還払いとなっているが、中学生以下と同様に請求手続が不要な現物給付の方法に見直す考えはないか。

**答** 高校生世代については、令和5年度に県の制度として償還払いでの助成制度が創設されたことから、本市においても償還払いにより実施しており、償還払いの制度については3年間試行的に実施し、検証を行うこととされている。市としては、市民の利便性、負担軽減のためには現物給付が望ましいと考えていることから、検証の際には県に要望するとともに、市においても導入に向けて検討していききたい。また、国による制度創設についても強く要望していく。



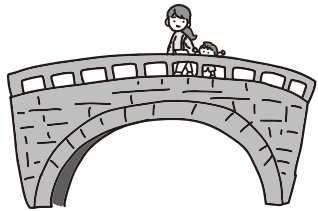
市民クラブ  
木森 きもり  
俊也 としや



阿弥陀橋の復元

**問** 市指定有形文化財の中島川阿弥陀橋については、長崎大水害後の災害復旧事業に伴い、早期に復元することを条件に解体されたが、いまだ復元されず、石材は市有地にて保管されている状況である。令和4年6月議会において復元場所の再検討を行う旨の答弁があったが、その後の進捗を伺いたい。

**答** 令和4年10月に文化財審議会を開催し、改めて復元の可能性を検討するため、当時復元場所として望ましいとされた中島川水系以外の場所も含めて新たな発想での考え方ができないか意見を伺ったところ、復元の可能性を高めるため、広く検討してよいのではとの意見をいただいた。これを受けて、今後は、中島川水系以外も視野に、改めて関係部局への照会等を行い、復元場所について再検討を進めていく。



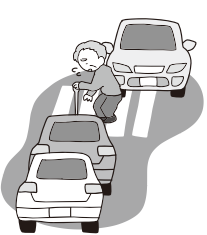

自民創生  
澤勢 みずき さわせ



長崎駅周辺の交通対策

**問** 駅舎南側の旭大橋側道を渡る横断歩道は、歩行者と車による接触事故や歩行者待ちによる交通阻害のリスクがあるため、信号機の設置やペDESTリアンデッキ（高架型の歩道）の導入などの対策が必要と考えるが、本市の見解を伺いたい。

**答** 信号機の設置については、県及び県警など関係者との協議において、隣接する信号交差点との距離が短く、車両の滞留区間が確保できないこと等により、設置はできないとの結論が出されている。一方で、ペDESTリアンデッキについては、元船方面へ向かう歩行者の迂回と信号待ちの解消に加え、車と歩行者の分離が図られることで安全で円滑な交通の確保に寄与すると考えられることから、今後、その具体化に向けて検討していききたい。




日本共産党  
大石 ふみき おおいし



江川マリンスポーツセンター閉館に伴う対応

**問** 令和5年9月議会で、南部地域における子どもたちの水泳環境の整備を求める陳情が出されたが、12月末の閉館を控え、どう進展しているのか。

**答** 市内の複数の民間や市営プールの管理者と協議等を行い、送迎バスの運行は他の地域との公平性の観点などから困難な面があるが、水泳教室等への子どもへの受入れは若干の可能性のあることを陳情者へ伝えるとともに、他のプールの案内チラシをマリンスポーツセンター内に設置し、利用者への情報提供も行った。

また、マリンスポーツセンターでは近隣の小中5校の水泳授業を受け入れているが、来年度は、必要に応じて修繕を行った自校プールの使用、または近隣の学校を共同利用することとしている。今後可能な範囲で、利用者へ寄り添った対応に努めていきたい。



概要

一般質問

常任委員会の  
主な審査内容

議決結果


令和4年度決算の  
主な審査内容

令和4年度決算  
議決結果

令和5年の  
長崎市議会

議会の動き、  
人事、陳情等





公明党  
林 浩明  
ひろあき




### 外国人材の受け入れと多文化共生 社会の実現

**問** 政府は令和6年以降に、「育成就労制度」を実施する方針であるが、本市に外国人材を受け入れ、新たな担い手として定着できるように取組及び今後の方向性について伺いたい。


**答** 国や県が行う翻訳機器導入や社内標識設置に対する支援等について地元企業に周知を行うほか、産学官一体で設立した長崎留学生支援センターで企業向けの留学生人材活用セミナーを開催するなどの就職支援に取り組んでいる。

また、多文化共生社会の実現に向け、外国人転入者に向けた行政手続き等を4か国語で記載したガイドブックの配付、行政窓口での通訳サポート、日常生活に必要な日本語講座や市民の国際理解を深める講座等を行っている。

今後も国の動向を注視するとともに、県や関係団体と連携し、取組を進めていきたい。

自民創生  
浅田 明生  
あさだ

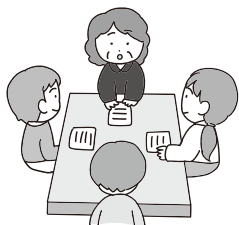



### 愛宕団地公民館の存続


**問** 愛宕団地公民館は県有地を市が無償で借り受け、その土地に自治会が公民館を建てているが、県から市へ令和6年3月末で契約を満了する旨の文書が送付されたことについて、今後の解決に向けての具体策を伺いたい。

**答** 自治会公民館は地域コミュニティの核となる自治会の活動拠点であり、県から市の事業について理解いただき、県有地を借り受けているものと考えている。一方で、市も県の事業に協力するため、複数の市有地を県に無償で貸し付けている状況もある。

したがって、市のコミュニティ活動事業の推進と、市と県相互の事業連携が重要であるという点を理解いただくとともに、住民の方々の不安も解消するため、改めて県に対し、早期に従前のとおりの貸付の取扱いを継続していただくよう要望していきたい。

ながさき次世代の党  
梅本 けいすけ  
うめもと

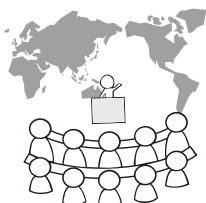


### 海外出張の旅費の考え方

**問** 市長の海外出張に当たっては、航空機でビジネスクラスを利用しており、同行した一般職員と旅費に大きな差があるが、無駄遣いではないか。

**答** 市長就任後、核兵器禁止条約第2回締約国会議への出席等に伴い、海外への出張を行っている。市長の海外出張時の航空運賃の等級については、国家公務員等の旅費に関する法律に準じて決定しており、現地到着後速やかに、市を代表して公務に当たること、また、帰路にあっても、到着後速やかに公務に当たることから、長時間の移動にあつては、睡眠の確保や公務の準備等を行う環境を確保し、公務の遂行に万全を期するため、ビジネスクラスを利用している。

今後についても、出張中及び出張前後の公務の日程などを踏まえ、円滑な公務執行を第一に、総合的に必要性を判断していきたい。




ながさきミライ  
高橋 佳子  
たかはし



### 病児・病後児保育施設の減少に伴う対応

**問** 病気になった子どもを一時的に保育する病児・病後児保育施設の拡充に向けた医療機関や保育施設との調整状況を伺いたい。

**答** 市医師会に相談し、小児科医に対する事業参加の意向調査を行ったが、参加意向はなく、長崎みなとメディアカールセンターとも事業実施の可能性について協議を行ったが、人材確保の面などから現時点での実施は難しい状況であった。一方で、既存の保育施設での実施検討のため、保育関係団体等の協力のもと意向調査を行ったところ、実施を希望する施設が複数あったことから、現在は、施設における医療機関との連携方法や、職員の配置及び設備等の基準等について、確認や協議を進めているところである。

今後も、早急に拡充できるよう取り組んでいく。



# 常任委員会における審査の主な内容

概要

一般質問

常任委員会の  
主な審査内容

議決結果

令和4年度決算の  
主な審査内容

令和4年度決算  
議決結果

令和5年の  
長崎市議会

議会の動き、  
人事、陳情等

## 総務委員会 手熊地区ふれあいセンターの指定管理者の指定に係る議案を可決

第177号議案「公の施設の指定管理者の指定について」は、地域コミュニティの拠点施設である手熊地区ふれあいセンターの管理を行う指定管理者について、非公募により選定した手熊地区ふれあいセンター運営委員会を指定管理者として指定しようとするものです。

委員会では、指定管理委託料の見込額の妥当性などについて質すなど、内容検討の結果、異議なく原案を可決しました。



▲手熊地区ふれあいセンター

## 教育厚生委員会 老人福祉センター・老人憩の家運営費など、令和5年度一般会計補正予算（第9号）を可決

民生費において、老人憩の家「香焼ひまわり」の維持管理経費は市と社会福祉協議会がそれぞれ負担していましたが、同施設の1階で、社会福祉協議会が行っていた老人デイサービス事業が令和5年12月末で終了することに伴い、社会福祉協議会からの負担金がなくなるため、市の負担分を増額するために老人福祉センター・老人憩の家運営費などが計上されました。

委員会では、同施設で社会福祉協議会が行っていた老人デイサービス事業が終了することとなった理

由について質すなど、慎重に審査しました。

その結果、地域と協議を行い、次期指定管理者の指定の際には、今後空きスペースとなる部分も活用して、総合的に利用できるような提案を行ってほしいとの要望を付した賛成意見が出され、異議なく原案を可決しました。



▲老人憩の家「香焼ひまわり」

## 環境経済委員会 新東工場建設事業費など、令和5年度一般会計補正予算（第9号）を可決

衛生費において、新東工場整備工事の発注時点では確認されなかった中硬岩が造成工事を進める中で確認されたことに伴い、建設費の増額と工期延長に係る債務負担行為及び繰越明許費が計上されました。

委員会では、過去にも同様の事例が発生しているにもかかわらず今回の事態に至った要因、工期延長に伴う騒音についての地域住民への説明状況、事業の財源となっている国庫支出金の内示の見通し、再発防止に向けて部局横断的に取り組むための仕組みづくりについて質すなど、慎重に審査しました。

その結果、今回の責任の重さを忘れることなく、

予算策定前から庁内協議の頻度を増やし、調査精度を上げ、チェック体制の確立など、さらに強い意識を持って事業執行に努めてほしい、今後、予定されている完成時期を目標に工事の推進を図り、地域や議会に対して進捗状況を丁寧に説明してほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、異議なく原案を可決しました。



▲現地調査の様子

## 建設水道委員会 令和5年度土地取得特別会計補正予算（第1号）を可決

都市計画道路銅座町松が枝町線の銅座工区において、権利者との協議が進捗したため、土地開発基金を活用した事業用地の先行取得に係る補正予算が計上されました。

委員会では、用地買収の進捗状況と取得率の算出に係る考え方、同工区が完成するまでの間、買収済みとなっている用地をまちなかのぎわいを創出す

るために活用する考えについて質すなど内容検討の結果、異議なく原案を可決しました。



▲観光通電停付近完成イメージ図







# 令和4年度決算の常任委員会における審査の主な内容

議会では毎年度、一般会計・特別会計などの各会計決算について、予算目的に沿って適切に執行されたかどうかを審査します。本年度は、教育厚生、環境経済、建設水道委員会が10月27日、30日、31日（31日は教育厚生委員会のみ）、総務委員会が11月6日、7日に決算審査を行いました。

概要

一般質問

## 総務委員会

各款にわたる給与費において、職員の休職や早期退職の原因究明に向けた取組状況について慎重に審査しました。

次に、総務費において、自治会加入率が減少していることから加入促進を図るための取組状況、各総合事務所が地域別に行う事業に係る地域振興費の予算配分の考え方、ブリックホールの稼働率やその他の文化施設の利用状況などについて慎重に審査しました。

その結果、令和4年度の未収金となった稲佐山公園の指定管理に係る納付金については、指定管理者と行政との連携不足に起因していると考え、全庁的に様々な取組を行ってほしい、また、本件は、部局間での意思の疎通が図られていないこと及び議会へ適切な報告や説明がなされなかったことから、今後このようなことがないように全庁で共通の課題として捉え、スピード感を持って行政運営を行ってほしいとの要望を付した賛成意見が出され、異議なく本決算を認定しました。

## 環境経済委員会

衛生費において、ゼロカーボンシティ長崎の実現に向けた再生可能エネルギーの利用促進に係る市民への周知啓発の現状、公共施設への太陽光発電設備の設置促進に向けた取組状況などについて慎重に審査しました。

その結果、一部委員から、MICE推進費については、人口減少が進んでいる中で、交流拠点施設の整備よりも、子育て支援の充実など、定住人口対策として取り組むべき事業があることから認められないとの反対意見が出されました。一方、長崎市地球温暖化対策実行計画において設定している市民による自発的な環境行動の推進に係る野心的目標を達成するための仕組みを再検討し構築してほしい、公共施設再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査委託について、各部局や民間事業者と積極的に連携しながら、あらゆる方向から可能性を探り、目標達成に向けて推進して欲しいとの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で本決算を認定しました。

## 教育厚生委員会

民生費において、ICカードによる高齢者交通費助成方法の在り方や病児・病後児保育施設が1施設閉鎖になったことによる影響と今後の対応策などについて慎重に審査しました。

その結果、一部委員から、学校給食センターについては、各学校の給食室で給食を作る自校方式などを充実させる方向に舵を切るよう求める立場から認められないなどの反対意見が出されました。一方、県外原爆・平和展を大学の学園祭などで開催するなど、次世代の平和の後継者づくりに取り組んでほしい、全天候型子ども遊戯施設周辺において、一部の街路灯などに老朽化が見受けられるため、早急に対応してほしい、子育て支援は、本市にとっても重要な施策であることから、その充実を図るため部局横断し、全庁的に取り組んでほしい、無責任な餌やりと捨て猫防止に向けた周知徹底や他都市の施策を参考に殺処分ゼロに向けて取り組んでほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で本決算を認定しました。

## 建設水道委員会

土木費において、相続登記の義務化などの法改正が今後の用地交渉に与える影響の見通し、長崎スタジアムシティの完成を見据えた周辺街路などの環境整備に対する考え方、ながさき住みよ家リフォーム補助金で不用額が生じた理由や令和6年度以降も補助を継続する見通し、まちなか町家等活用助成制度における効果の検証状況や課題に対する今後の取組などについて慎重に審査しました。

その結果、周辺地区の都市計画道路や車みち整備などにおいては、年次的な計画をしっかりと立てて事業を進めてほしい、市の施策によって住宅コストの高騰が抑制されてきたと市民が実感できるように令和6年度以降も施策を推進してほしい、まちぶらプロジェクトにおける町家について、長崎の歴史や雰囲気を生かしたまちづくりを加速させてほしい、本委員会が出された意見を踏まえ、各事業における優先度を十分に精査し、効率的かつ効果的な事業執行に当たってほしいとの要望を付した賛成意見が出され、異議なく本決算を認定しました。

常任委員会の  
主な審査内容

議決結果

令和4年度決算の  
主な審査内容

令和4年度決算  
議決結果

令和5年の  
長崎市議会

議会の動き、  
人事、陳情等





# 令和5年の長崎市議会

概要

一般質問

常任委員会の  
主な審査内容

議決結果

令和4年度決算の  
主な審査内容

令和4年度決算  
議決結果

令和5年の  
長崎市議会

議会の動き、  
人事、陳情等



①新庁舎開庁



②議場の開場式



③市議・市長の当選証書付与式



④毎熊政直議長の就任挨拶



⑤相川和彦副議長の就任挨拶

1月4日

①新庁舎開庁

1月26日

②議場の開場式を開催

○1月臨時会開会

〔市長提出議案4件について、それぞれ審議決定〕

2月20日

○2月定例会開会（～3月15日）

○ゼロカーボンシティ長崎推進特別委員会、ポストコロナ経済対策特別委員会、観光客誘致・受入対策特別委員会の調査終了に伴い、各特別委員長が調査結果を本会議に報告

3月15日

○2月定例会閉会

〔2月定例会では、市長提出議案69件について、それぞれ審議決定〕

4月23日

○長崎市議会議員一般選挙及び長崎市長選挙

4月25日

③議場で市議・市長の当選証書付与式を実施

5月11日

○5月臨時会（初議会）開会

④選挙により、第59代長崎市議会議長に毎熊政直議員を選出

⑤選挙により、第66代長崎市議会副議長に相川和彦議員を選出

○常任委員会及び議会運営委員会の委員を選任

○監査委員の選任に同意

山本信幸議員、吉原 孝議員

○長崎県後期高齢者医療広域連合議会議員の選出

毎熊政直議員、澤勢みずき議員、井上重久議員、福澤照充議員

〔市長提出議案4件について、それぞれ審議決定〕

6月8日

⑥第98回九州市議会議長会定期総会（会長 毎熊政直議長）を開催

6月20日

○6月定例会開会（～7月7日）

○永年勤続表彰：野口達也議員、五輪清隆議員（20年以上表彰）

6月27日

○長崎市議会スポーツ振興議員連盟（会長 野口達也議員）、

九州新幹線西九州ルートフル規格整備促進議員連盟

（会長 深堀義昭議員）、

核兵器廃絶長崎市議会議員連盟（会長 五輪清隆議員）、

長崎市議会観光振興議員連盟（会長 吉原 孝議員）を発足

6月28日

○子育て支援特別委員会、部活動の地域連携のあり方検討特別委員会、長崎駅周辺交通対策特別委員会を設置

7月7日

○6月定例会閉会

〔6月定例会では、市長提出議案33件、議員提出議案3件、請願2件について、それぞれ審議決定〕

可決した2件の意見書を国会及び関係行政庁へ提出

・核兵器禁止条約の実効性を高めるための主導的役割を果たすことを求める意見書

・ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための意見書

7月10日

⑦長崎原子爆弾被爆者援護強化対策協議会の委員が「原子爆弾被爆者援護対策」について、要望活動を実施（～11日）

### 議会の動き

▶会派名称の変更(11月27日)

「日本維新の会」から「ながさき次世代の党」に名称を変更しました。

▶議員研修(12月21日)

長崎県立大学の副学長(情報担当)松崎なつめ教授を講師としてお招きし、「ソーシャルメディアの活用とトラブル防止」をテーマに研修を実施しました。

### 陳情

委員会審査を行った陳情は、次のとおりです。

▶長崎市の予算執行と財政運営の信頼性向上に関する陳情

(総務委員会)

▶「長崎の子どもたちをいじめから守る活動」に関する陳情

(教育厚生委員会)

### その他

▶社会福祉法人等無報酬役員届出書の提出

長崎市議会議員政治倫理条例に基づき、12月14日に山口たかゆき議員から届出書が提出されました。

### 2月定例会の予定 ※日程は変更となる場合があります。

2月21日(水)	本会議(招集日)
2月27日(火)～29日(木)	本会議(市政一般質問)(4日間)
3月4日(月)	
3月5日(火)～8日(金)	常任委員会(7日間)
3月11日(月)～13日(水)	
3月15日(金)	本会議(委員長報告等)

### 人事

次の人事案件について同意することに決定しました。

▶公平委員会の委員

山口 大輔 氏(新任)

▶固定資産評価審査委員会の委員

有馬 一郎 氏(再任)

前田 利孝 氏(再任)

宮崎 洋平 氏(再任)

選挙管理委員会の委員及び補充員について、指名推選の方法による選挙を行い、次の方々を選出しました。なお、委員に欠員が生じた場合は、補充員の中から補欠されます。

▶選挙管理委員会の委員

國弘 達夫 氏

奥村 修計 氏

西田 実伸 氏

岩田 純一 氏

▶選挙管理委員会の補充員

伊東 浩子 氏

堤 勝彦 氏

藤田 進 氏

山本 誠一 氏

## 行政視察

特別委員会及び議会運営委員会の付託案件に係る調査事項について、次のとおり行政視察を行いました。

委員会名	派遣委員	期間	調査都市等・主な項目
子育て支援特別委員会	林 広文、梅本けいすけ 中西 敦信、向山 宗子	10月17日 ～19日	練馬区：ひとり親家庭自立応援プロジェクト 横須賀市：子育てホットライン(24時間) 横須賀版ネウボラ 静岡市：ちゃむしずおか (静岡市子ども・子育て支援SNS)
	浅田 真五、井上 重久 岩永 敏博、高橋 佳子 竹田 雄亮	10月4日 ～6日	福生市：就学前までの子育て支援の取組 三鷹市：〃 豊橋市：〃
部活動の地域連携のあり方検討特別委員会	木森 俊也、池田 章子 大石ふみき、都留やすとし 中山 大、山下 巖記	10月16日 ～18日	スポーツ庁：部活動の地域移行 リーフラス(株)：〃 生駒市：〃
	森きょうへい、永尾 春文 久 八寸志、吉原 孝	10月2日 ～4日	長岡市：部活動の地域移行 佐野市：〃 白岡市：〃
長崎駅周辺交通対策特別委員会	梅元 建治、澤勢みずき 深堀 義昭、山口まさよし	10月2日 ～4日	広島市：エディオンピースウイング広島 建設及び広島駅周辺の再整備 広島電鉄(株)：広島電鉄 鹿児島市：駅周辺のまちづくり
	山口たかゆき、梅原 和喜 筒井 正興、野口 達也 平野 剛、山本 信幸	10月24日 ～26日	金沢市：金沢駅周辺における渋滞対策 高崎市：高崎駅周辺における渋滞対策 高崎駅東口再開発
議会運営委員会	山崎 猛、山谷よしひろ 柿田 正、五輪 清隆 福澤 照充、武次 良治 平 たけし、毎熊 政直 相川 和彦	10月16日 ～18日	宇都宮市：議会活性化に向けた取組 議会制度検討会での取組 会津若松市：議会活性化に向けた取組 予算決算の審査方法

※行政視察報告書は、長崎市議会ホームページでご覧になれます。



概要

一般質問

常任委員会の  
主な審査内容

議決結果

令和4年度決算の  
主な審査内容

令和4年度決算  
議決結果

令和5年の  
長崎市議会

議会の動き、  
人事、陳情等